

ひまわり

半田市立成岩中学校 学校だより

1月号 令和7年1月15日

<http://www.narawa-j.ed.jp/>

「目標に向かって行動し続ける」～始業式校長式辞から～

あけましておめでとうございます。新しい年、新しい学期が始まりました。皆さんはこの冬休み、家族や友達と楽しい時間を過ごしたり、自分の目標に向けて努力したりと、多くの経験をしたことでしょう。この新しい始まりに、また一緒に成長していけることを嬉しく思います。今年もよろしくお祈りします。

さて、みなさんの中にはお正月に箱根駅伝を観た人もいないのでしょうか。箱根駅伝は、日本の大学駅伝競走の一つで、関東の大学対抗の大会です。毎年一月二日と三日に行われ、東京の大手町から神奈川県箱根町までの往復約217キロを10区間に分けてタスキをつなぎながら走ります。今年は101回目の大会でした。この大会は、ただの競技ではなく、選手たちのドラマやチームの絆が見どころの一つでもあります。

箱根駅伝に出場するため、大学生たちは何か月も、時には何年も努力を重ねてきました。選手たちは全力で走り、多くの感動的なドラマが生まれ、その頑張りは大いに称賛されています。しかし、忘れてはならないことがあります。それは、出場して注目を集める選手がいる一方で、日の目を見ない選手もいるという事実です。

各大学の出場枠はわずか10名。例えば、優勝した青山学院大学では50名ほどの選手がいるそうですが、そのうち、出場できたのは10名のみで、残りの学生はその舞台に立つことができません。出場できなかった学生たちの悔しさや無念さは計り知れないものがあるでしょう。

それでも、彼らの努力が無駄になることは決してありません。厳しい練習で培った忍耐力や自分を律する力、仲間や家族への感謝の心は、彼らの人生において大きな財産となります。悔しい思いをした人ほど、その後の挑戦を通じて謙虚さや人間性を磨き、周囲から応援される存在へと成長していけるのだと思います。

このことは、みなさんの学校生活にも通じるのではないのでしょうか。テストや大会で思うような結果が出なかったり、行事などでリーダーになれなかったりすることがあるかもしれません。しかし、それで終わりではありません。努力する姿勢や挑戦し続ける意志は必ず周囲に良い影響を与え、次につながる結果を生み出します。

新しい年を迎え、みなさんをお願いしたいことがあります。それは、自分がどんな人になりたいかを考え、その目標に向かって行動し続けてほしいということです。また、周りの人たちとの関わり方にも目を向けてほしいと思います。謙虚さ、相手を思いやる心、そして感謝の気持ちを持つこと——これらの姿勢が、人としての魅力を高め、誰からも応援される存在へと繋がります。

たとえば、友達が困っているときに手を差し伸べたり、成功したときに驕らず仲間感謝することは、簡単そうで難しいものです。しかし、こうした行動を心がけることで、自然と謙虚さや思いやりの心が育まれ、人生を支える大きな力となります。

箱根駅伝の選手たちが感動を与えるのは、速さだけではなく、努力し、仲間を思い、周囲から応援される姿があるからです。同じように、みなさんも学校生活の中で結果だけにこだわらず、努力する過程を大切にしてください。そして、仲間や家族、周りの人に感謝し、謙虚さを忘れずに目標に向かって進んでほしいと思います。

この一年が、みなさん一人ひとりにとって大きな成長の年になることを心から願っています。一緒に頑張りましょう。

1 2月の学校生活等の様子

Eー成中デー 12/12

縦割活動の機会を増やしたいといった生徒会執行部の思いを受けたもので、初めての試みでした。内容は大きく分けて二つ。一つ目はこれまでも行っていた「NARAWAプレゼンデー」です。縦割り学級でグループに分かれ、プレゼンし合いました。3年生の進路選択・決定に関するプレゼンは、1・2年生に向けたメッセージ性を強く感じました。1・2年生もその思いを感じ取り、神妙な顔つきで聞いていました。

NARAWAプレゼンデーの様子



もう一つの取組は、「成中ウォーク」です。同じく縦割り学級のグループで校内の各箇所に設定されたミッションをクリアしていく取組です。校内のいたるところにチェックポイントを設け、先生たちもお題を課す役を務めました。自分の担当教科に関するものや趣味など、さまざまなお題があったようです。中にはクリアが難しい課題もあって生徒たちが必死に挑戦していました。

成中ウォークの様子

